

2020年度CSR レポート



2020年度企業の社会的責任レポート

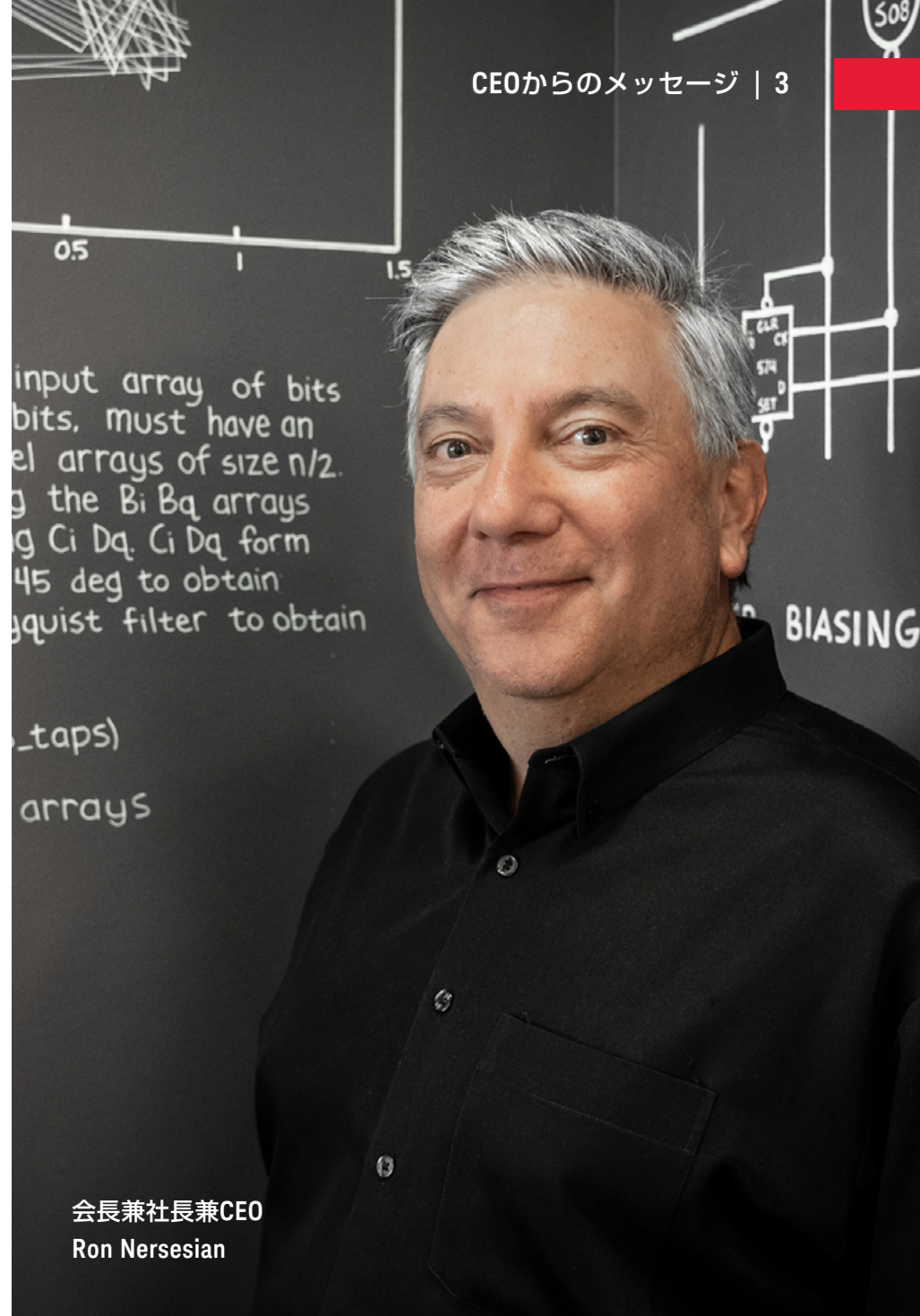
環境の持続可能性 | 社会的影響 | 企業倫理ガバナンス

CEOからのメッセージ

2020年を振り返ると、ビジネスと世界状況の両方に関して、私の38年の職業生活で一度も経験がないほどの混乱が起きた年だったと言えます。キーサイトは、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のパンデミック、山火事、停電、そして政治的不安を乗り越ってきました。これらすべての障害にもかかわらず、当社は、キーサイト・リーダーシップ・モデルの企業活動フレームワークと差別化された文化の強みを実証してきました。これらはともに、企業の社会的責任(CSR)を中心的要素としています。私は、キーサイトのチームが2020年度に示した対応、回復力、そしてお客様への献身に、大きな誇りを感じています。

キーサイトの事業継続計画と、外部要因による危機に関する過去の経験は、2020年の課題に対処しながら、地域コミュニティを支援し、CSRを通じてよりよい地球を実現するという当社のビジョンを維持するために役立ちました。COVID-19への対応に関して、当社は3つの優先事項を定めました。第1の優先事項は、従業員とその家族の安全と健康を維持することでした。これは現在も変わりません。2020年3月に、当社は政府の規制と要件に先立っていち早く行動を開始しました。すべての出張を停止し、可能な従業員にはリモートワークを要請し、多くの事業所を一時的に閉鎖しました。不可欠な重要インフラをサポートする施設を再開する際には、そこで働く人々を保護するため、健康と安全に関する厳重な規則を導入しました。

第2の優先事項は、利害関係者に対するキーサイトの長期的な価値を維持することでした。当社はいち早くイノベーションプログラムを立ち上げ、自宅で仕事をするお客様の生産性維持のためのソフトウェア試用版を無料で提供しました。



会長兼社長兼CEO
Ron Nersesian

当社は従業員の雇用を維持し、上級副社長より下のレベルのすべての従業員に給与の全額を支払いました。また、施設の閉鎖中に働けなくなった従業員にも給与を支払いました。当社は、お客様も技術的ブレークスルーに取り組み続けていることを考慮し、お客様にとっての継続性を維持することを優先事項としました。このような努力を通じて、2020年度全体では堅調な業績を残すことができました。

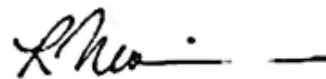
第3の優先事項は、地域コミュニティへの支援を維持することでした。当社はキーサイト財団を通じて、パンデミックおよび人種差別と闘う世界中の組織に100万ドル以上を寄付しました。当社はさらに、非営利団体への継続的支援を促すため、2020年度分の従業員支援に対応する会社負担分を増額しました。また、キーサイトは、最前線の医療従事者に個人用防護具を寄付しました。

2020年の課題を通じて、当社はCSR目標に関する進歩を成し遂げ、2020会計年度を期限とする重要な影響目標の多くを達成しました。私は誇りを持って、コミュニティの強化、次世代の技術者の育成、水資源の節約、世界中での倫理的企業活動とガバナンスの確立という約束をキーサイトが達成したことを公表いたします。エネルギーの節約に関しては、8 %という目標値をわずかに下回る結果になりましたが、その理由の一部は、COVID-19関連の従業員の安全性と福祉にリソースを振り向けるという決定と、施設での安全手順の導入にあります。

今後の見通しとしては、COVID-19とその持続的影響も、その他の課題も、しばらくは続くと考えられます。それでもキーサイトは、CSRと、よりよい地球を実現するという約束に、今後も邁進し続けます。2021会計年度にキーサイトは、当社の努力をさらに推進するための科学に基づく新しい目標を設定する計画であり、地球温暖化を1.5℃以内に抑えるというパリ協定の優先目標に従って、企業活動による二酸化炭素排出量を2040年までに正味ゼロにすることを約束します。

また、キーサイトは今後も、クリーンテクノロジー、ウェルネス、安全、セキュリティの目的に応じたイノベーションを、当社の製品、ソリューション、サービスを通じて実現していきます。2020会計年度の初めに当社は、インクルージョンとダイバーシティの文化の強化を全社的優先事項に位置付け、多年度にわたる戦略を策定しました。パンデミックが終わるまでの間、当社は引き続き従業員と地域コミュニティへの支援を行います。

当社は今後もさらに進歩を成し遂げ、よりよい地球を実現するために役割を果たしていきます。このレポートでは、現在までの達成事項と今後の計画をご紹介しますので、ぜひご覧ください。



キーサイト・テクノロジー
会長兼社長兼CEO
Ron Nersesian

ビジネスの現状

CEOからの
メッセージ

ビジネスの
現状

これまでにない
1年

ビジョンと
戦略

キーサイトは、電子デザイン、テスト、製造、最適化に関する画期的なソリューションと信頼できる知見を提供することで、デジタル革命に中心的役割を果たしています。当社は、“すべてが安全につながる世界”へのイノベーションを加速するために、通信エコシステム、航空宇宙／防衛、車載用、エネルギー、半導体、一般電子機器といったエンドマーケットのお客様のお手伝いをしています。

当社の戦略は引き続き、成長を追求し、特定業界向けのソフトウェア中心のソリューション、目標を絞った研究開発投資、戦略的買収、キーサイト・リーダーシップ・モデル(KLM)による企業活動の規律を通じて、お客様の成功を実現することにあります。2020会計年度、COVID-19に伴う困難にもかかわらず、キーサイトは堅調な業績を達成し、ターゲット市場での主導的地位をさらに強固なものにしました。受注数、利益率、キャッシュフローは過去最高を達成しましたが、売上高は前年同期比2%の減少となりました。

企業の社会的責任(CSR)はKLMの核心的要素であり、当社は、製品ライフサイクル全体に持続可能性を組み込み、製品と企業活動において限られた環境資源の価値を最大化しながら、持続可能な未来のためのイノベーションを推進し、当社の事業の場所であるコミュニティにポジティブな影響を与えることを目指しています。

喜ばしいことに、当社の努力と影響は社外からも認められています。2020会計年度にキーサイトは、Barronによってアメリカの最も持続可能性に貢献している100社に選ばれ、アメリカで最も公正な企業を表す2021年のJUST 100ランキングに入り、**Newsweek**とStatista Inc.によるアメリカで最も責任感ある企業の初めてのランキングにも選ばれました。さらに、当社はISS ESGのコーポレートESGパフォーマンスでプライムの認定を受けており、MSCIのESGリーダーズ指数¹、FTSE4Good指数シリーズ²、およびDow Jonesサステナビリティ指数(DJSI)の北米指数構成銘柄に継続的に選ばれています。

将来を考えても、キーサイトは、5G、次世代自動車、モノのインターネット(IoT)、ネットワークセキュリティ、ソフトウェアテスト自動化といった最も成長著しいテクノロジー・エンド・マーケットに確固たる地位を築いており、お客様の成功を支援しながら、マーケットの進化に応じてリーダーシップを拡大していく能力があります。ビジネスのさまざまな次元における当社のこれまでの業績と成長は、ハードウェアに加えてソフトウェアとサービスを含む包括的ソリューションをお客様に提供するという当社の戦略の有効性を証明しています。当社は今後も、お客様、株主、従業員により多くの価値を提供することに注力し続けます。同時に、当社は全世界でのCSR活動の継続的改善に向けて努力していきます。

¹ MSCI指数におけるキーサイト・テクノロジーズ・インクの採用、および本文書におけるMSCIロゴ、商標、サービスマーク、または指数名の使用は、MSCIまたはその関連会社によるキーサイト・テクノロジーズ・インクに対する推奨、保証、または宣伝を意味するものではありません。MSCI指数に関するすべての権利はMSCIが保有しています。MSCIおよびMSCI指数名とロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標またはサービスマークです。

² FTSE Russell (FTSE International LimitedおよびFrank Russell Companyの商標)は、キーサイト・テクノロジーがFTSE4Good基準に従って独立に評価され、FTSE4Good指数シリーズの構成銘柄の要件を満たしたことを確認します。グローバルな指数プロバイダー FTSE Russellが作成するFTSE4Good指数シリーズは、環境／社会／ガバナンス(ESG)活動を積極的に行っている企業の業績を測ることを目的としています。FTSE4Good指数は、責任投資ファンドやその他の商品を作成し、評価するために、さまざまな市場参加者によって用いられています。

これまでにない1年：

2020年の危機への対応と事業継続

CEOからの
メッセージ

ビジネスの
現状

これまでにない
1年

ビジョンと
戦略

2020年に起きた世界規模の大きな混乱は、全世界の企業とコミュニティの強さと適応性を測る試練でした。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のパンデミックの拡大に加えて、気象災害、山火事、政治的不安による社会的影響も発生しました。キーサイトもこれらの事件から影響を受けました。ただし、“すべてが安全につながる世界”へのイノベーションを加速するという当社の企業ミッションと、よりよい地球を実現するという当社のCSRビジョンの組み合わせは、キーサイトの戦略的価値が特にこのような危機の際に重要であることを実証しています。2017年にキーサイト本社近くで起きたTubbs山火事などの過去の事件でも、当社の強固な事業継続方針の有効性が実証されました。このような経験は、2020年の危機を乗り越えるための貴重な教訓を提供してくれました。このような事前の準備と経験のおかげで、キーサイトは2020年においても、引き続きお客様の期待を充たし、ビジネスコミットメントを達成する一方で、従業員とその家族、およびコミュニティ全体の安全とセキュリティに貢献できました。



CEOからの
メッセージ

ビジネスの
現状

これまでにない
1年

ビジョンと
戦略

2020年の山火事

2020会計年度にキーサイトの事業拠点近くで発生した山火事は13件以上に上ります。これにより、米国の複数のキーサイトコミュニティで、従業員が自宅から避難したり、大気汚染が何日か続いたりといった影響が発生しました。さらに、カリフォルニアにあるキーサイトのいくつかの事業所と従業員の自宅は、強風と乾燥が重なる条件で山火事の新規発生を防ぐための計画停電の影響を受けました。

キーサイトは、会社の危機管理方針に従い、従業員救済センターを通じて、従業員とその家族に緊急支援物資(衛生用品、衣類、食料、水など)を提供するとともに、精神衛生支援サービス、IT接続、個人デバイス用充電ステーション、金融支援、仮住居の紹介といった支援を行いました。

キーサイトは施設への山火事のリスクを軽減するため、景観維持と植生管理による天然可燃物の削減、施設周辺への防火帯の追加、本社オフィスでの施設内消火隊の設立といった努力を続けていきます。

2020年のパンデミックへの対応

キーサイトは、2020年1月初めにはコロナウイルスの監視を開始し、グローバル危機管理チームを通じて3種類の利害関係者に対する対応の優先順位を決定しました。すなわち、従業員とその家族の健康と安全、重要なインフラと不可欠なサービスの提供を通じたお客様への支援、そしてパンデミックと闘うための地域コミュニティへの支援です。



2020年の当社の活動を以下に示します。

従業員とその家族

- 政府の規制と要件に先立ち、国内外への出張を停止し、可能な場合は従業員に在宅勤務を要請し、多くの拠点を一時的に閉鎖
- 施設の閉鎖中も、作業場所にかかわらず従業員と請負業者への支払いを継続し、従業員との定期的なコミュニケーションを実施
- 施設の再開時には、エッセンシャルカスタマーをサポートする製造／サービス部門の従業員のために厳格な安全手順および規則(無料の個人用防護具を含む)を導入
- 従業員の給与は全額を支払う一方で、会社の健全性を維持し、雇用を守るため、上級副社長は基本給の50 %、CEOは100 %を一時的に削減
- COVID-19を原因とする従業員の解雇はなし

お客様

- 施設の再開時には、主要施設の生産能力を増強することで、医療機器メーカーなどの重要なインフラとお客様をサポート
- ハードウェア・サポート・サービスに関して厳格な安全／健康／衛生規則を導入
- 自宅で仕事をするお客様の生産性維持のためのソフトウェア試用版を無料で提供
- お客様のサプライチェーンの一部としてお客様と連携し、お客様に必要なパンデミック関連規則との整合性を確保
- パンデミック関連規則との整合性に関してサプライチェーンを密接に監視
- ソリューションのデモ、イベント、サービスの仮想化を推進

コミュニティ

- 全世界の慈善救援団体、医療機関、緊急時対応組織に個人用防護具や清掃用品を寄付
- 非営利団体に100万ドル以上を寄付
- 従業員の寄付に対応する会社出資分と個人別上限を増額
- 科学／技術／エンジニアリング／数学(STEM)教育への支援を継続するため、対面でのボランティア活動に代わり、オンライン・メンターシップ・プログラムや大学との連携による取り組みを開始

キーサイトは今後も、COVID-19に関する状況の変化を積極的に監視し、
このパンデミックの常に変化し続ける影響から従業員、お客様、株主、地域コミュニティを保護するために、
必要に応じて追加の措置を取ります。



CSRのビジョンと戦略

CEOからの
メッセージ

ビジネスの
現状

これまでにない
1年

ビジョンと
戦略

CSRのビジョン

キーサイトのCSRビジョンは、以下の手段を通じてよりよい地球を実現することです。

Accelerating innovation
to connect and secure
the world



Through our hardware,
software, and service
solutions

Employing a global
business framework of
ethical, environmentally
sustainable, and socially
responsible operations



Through a
comprehensive
corporate social
responsibility program

CSR戦略

ビジョンを実現するために、キーサイトのビジネスとCSR活動は相乗効果を発揮します。すなわち、当社のソリューション／サービスとCSRプログラムの両方を通じて、グローバルコミュニティにポジティブな影響を与えることができます。



地球と会社の両方の 繁栄を目指す

活動をコミットメントに対応付け、
環境、社会、ガバナンスに関連する
重要な影響目標を通じて
進捗を測定



企業価値とキーサイトの 利害関係者を結び付ける

利害関係者の期待に応えながら、
会社全体の隅々に至るまですべての
活動の整合性を維持



定義された範囲と 管理システムを備えた ガバナンス構造の使用

継続的改善と説明責任を推進

CSRの柱に関する基盤となる枠組みに基づき

会社とグローバルコミュニティの利益に関する、すべてのCSR活動の
整合性と評価の基準となる全社的構造を実現

地球と会社の両方の繁栄を目指す

主要影響目標の成果

本CSRレポートをもって、キーサイトは主要影響目標の最初のセットをクローズします。これらは、当社のCSRビジョンの進行状況を測定し、2015～2020会計年度にわたる活動を表すものです。これらの目標は、倫理的なビジネスガバナンスと事業活動を通じて、ポジティブな社会的影響をもたらすことで、環境の持続可能性をサポートし、グローバルコミュニティを強化することを目指しています。

環境の
持続可能性

18.9 %

水消費量の削減*

8 %

エネルギー消費量の削減*

150万ドル

コスト
回避*

社会的影響

17億ドル以上

コミュニティの強化に
投じられた金額

818,000人以上

STEM教育の対象の学生や
未来のエンジニアの人数

企業倫理
ガバナンス

ゼロ

CSR関連のトピックによる
損益計算書や機関投資レベルへの
重大な悪影響はなし

* 2015会計年度を基準とする

環境の持続可能性に関する主要影響目標の成果

キーサイトの環境の持続可能性目標は、水とエネルギーの節約を支援する活動を中心とし、活動初年度(2015会計年度)を基準としたコスト回避目標が設定されました。水消費量に関しては、当初の10 %削減という目標は2017会計年度にすでに達成され、その後も継続的活動の成果により、2020年末までに19 %近い水消費量の削減を実現しました。エネルギー消費量とコスト回避に関しては目標を下回る結果になりましたが、その原因は、COVID-19に関連する従業員の安全と健康の保護のためのリソースの優先順位の見直し、および施設の安全規則の導入に伴い、2020年に計画されていた関連活動が縮小されたことにあります。その結果、2020会計年度末までのエネルギー消費量の削減率は8 %となり、当初目標の10 %を下回りました。さらに、2020会計年度末時点でのコスト回避の最終結果は150万ドルで、当初目標の200万ドルに及びませんでした。

この分野でいくつかの目標を達成できなかったとはいえ、この結果は、2020年の困難な状況下で従業員とビジネスの回復力をサポートするためのリソースのバランスを考慮すれば、当社の環境プログラムの継続的な向上を実証していると言えます。



社会的影響(コミュニティ)に関する主要影響目標の成果

慈善寄付、ボランティア活動、スポンサーシップ、大学エンゲージメントプログラムを通じて地域と世界全体のコミュニティを強化する活動に関して、当初の10億ドルという金額目標は2018会計年度に達成されました。その後も当社は2020年までコミュニティをサポートするための貢献を続け、最終的に、2014年11月の設立以来の累積合計金額は17億ドルを超えました。

2020年の慈善活動の多くは、パンデミックへの対応を支援するものでした。これには、地域コミュニティ支援団体へのCOVID-19対策のための現金寄付、大学のリモート学習を支援するソフトウェアやソリューションの寄付、そしてアジア、欧州、北米にあるキーサイト事業所所在地のコミュニティの緊急対策拠点、公衆衛生部門、医療機関への個人用防護具の寄付などが含まれます。

社会的影響(教育)に関する主要影響目標の成果

未来のエンジニアの育成という目標には、キーサイトと従業員ボランティアによるSTEM教育サポートの対象となった小／中／高／大学レベルのすべての学生が含まれます。当初目標の670,000人を2019会計年度末までに超過した後、キーサイトのSTEM教育活動は2020会計年度を通じて継続され、2015会計年度初めからの累計で818,000人以上の学生が対象となりました。

2020年の活動の中心となったのは、オンラインメンタリングおよび学習の機会を通じた学生とのリモート交流と、過小評価マイノリティーや女性を対象としたSTEM教育に携わる団体との新しいパートナーシップでした。



企業倫理ガバナンスに関する主要影響目標の成果

この目標は、当社のビジネス行動規範(SBC)、企業ポリシー、および環境／健康／安全プログラムなどへの確実な適合を通じた、倫理的企業活動およびビジネスコミットメントの順守を目指しています。その結果、キーサイトに関して、CSR関連のトピックによる損益計算書や機関投資レベルへの重大な悪影響は生じず、この目標は計画通りに達成されました。

2020年には、サイバーセキュリティ／情報セキュリティ関連の活動の重要性が増し、従業員がオフィスから在宅勤務へと移行する際に効果的な措置が導入されました。

今後の主要影響目標

2020会計年度を期限とするCSR主要影響目標をクローズした後、キーワードは、環境の持続可能性、社会的影響、企業倫理ガバナンスに関する新しい活動目標を発表します。目標は、短期／中期／長期的活動に関連し、それぞれの達成時期が明記されています。

環境／社会／ガバナンスに関する
2021会計年度の目標

2億5,000万ドル

コミュニティの強化に
投じられる金額
(2021会計年度末まで)

75,000人

STEM教育の対象の学生や
未来のエンジニアの人数
(2021会計年度末まで)

35 %

全世界での新規雇用における
女性の割合
(2021会計年度末まで)

45 %

米国での新規雇用における
過小評価マイノリティの割合³
(2021会計年度末まで)

ゼロ

CSR関連のトピックによる
損益計算書や機関投資レベルへの
重大な悪影響はなし
(毎年)

正味ゼロ

企業活動による
二酸化炭素排出量
(2040会計年度末まで)

³ カリフォルニア州議会議案979では、黒人、アフリカ系アメリカ人、ヒスパニック系、ラテン系、アジア系、太平洋諸島島民、アメリカ先住民、ハワイ先住民、アラスカ先住民、あるいは同性愛者、バイセクシャル、トランスジェンダーが過小評価マイノリティと定義されています。

ビジネスコミットメントのサポート

当社のCSRプログラム分野は、主要影響目標に加えて、当社のビジネスコミットメントに対応付けられています。これにより、プログラムは、“すべてが安全につながる世界”をサポートするソリューションやサービスをキーサイトが提供し続けるために役立ちます。そのために、当社のCSRプログラムは、以下の分野での当社の目標をサポートします。

売上高成長率目標

一貫性のあるCSRプログラムとグローバルなポリシー、および従業員構成のダイバーシティによって、買収企業の統合と新規市場への参入の迅速化、従業員と将来の人材の開発、革新的な製品研究手法が可能になります。

利益率

天然資源を効率的に使用し、企業活動におけるダイバーシティの利点を活かすことで、事業支出を減らし、コスト回避プログラムをサポートする活動を実施できます。

株主価値

リスクを軽減し、CSR関連のトピックによる損益計算書や機関投資レベルへの重大な悪影響が生じないようにするという目標は、オペレーショナルエクセレンスと、環境／社会／ガバナンス(ESG)投資格付けの維持(または改善)によってサポートされます。



企業価値と利害関係者を結び付ける

キーサイト・リーダーシップ・モデル

主要影響目標とビジネスコミットメントを達成するために、CSR活動は企業価値および利害関係者の要求と直接に結び付いています。これにより、プログラムは企業の文化と一致し、組織全体のあらゆるレベルでサポートされ、すべての従業員が何らかの役割を果たします。

すなわち、社会的責任は、ここに示すキーサイト・リーダーシップ・モデル(KLM)の重要な要素です。このモデルは、当社が主要な利害関係者にさらに大きな価値を提供し続けることを可能にしています。KLMは、当社事業のあらゆる面に浸透し、イノベーション、スピード、卓越性の実現に貢献する哲学であり続けます。CSRプログラムでは、プログラムのあらゆる側面と利害関係者との関係において、KLMの原則が大いに活用されています。



主な利害関係者

お客様

キーサイトのあらゆる活動の中心にはお客様がいます。お客様、そして調達のプロダクションの中での当社のサプライヤは、テクノロジー分野のリーダーです。お客様は、“すべてが安全につながる世界”のためのブレークスルーを実現してきたビジョナリーであり、イノベーターです。そのため、キーサイトのCSRプログラムは、お客様が当社とのパートナーシップおよびキーサイトのソリューションの使用を通じて、自社のCSR/ビジネス目標を達成できるように支援することを目指しています。

株主

CSRは、持続可能な事業活動による事業の透明性、ビジネスの回復力、コストの削減を通じて、株主を惹き付け、株主に報いるための価値創造をサポートするとともに、堅実で社会的責任を持つブランドとしてのキーサイトの評価確立に役立ちます。

従業員

キーサイトは、従業員とコミュニティの繁栄を促進するポジティブな作業環境を通じて、高いインクルージョンとダイバーシティを備え、価値観を共有する高パフォーマンスの従業員集団を採用し、養成し、維持しています。



CSRの重要な要素

当社のCSR戦略は、主要な利害関係者に重要と認識される要素に基づいて作成されています。当社は、KLMを使用して、定期的に利害関係者と交流を行っており、2020会計年度末に重要要素の更新を完了しました。この最新の重要要素更新にあたり、キーサイトは、第三者の専門家に依頼して、主要な利害関係者にとって重要なCSR要素を以下の方法で分析しました。

- キーサイトのCSR活動が世界レベルでどのように位置付けられるかを把握するため、類似企業を対象に同業他社分析を実施しました。
- 投資家向け広報、注文履行、セールス、企業サービス、人事、法務／コンプライアンス、IT、ワークスペースソリューション、製品イノベーション／品質など、全世界のビジネス部門を対象に、社内部門と経営陣の利害関係者に対するインタビューを行いました。
- 企業市民活動に関する優先順位の共通テーマと潜在的なパフォーマンス向上トレンドを認識するため、お客様、投資家、業界団体、非政府組織を対象に、外部利害関係者へのインタビューを行いました。

キーサイトの機能横断型チームが、更新された重要なCSR要素のリストをレビューし、最終決定しました。従来の要素の多くが引き続き重要とされた一方で、利害関係者の見解に基づいて、以下の3つの要素が追加されました。

- **二酸化炭素排出量の正味ゼロ化** — 気候変動への対処の必要性が増加したことを直接に反映して、地球環境の持続可能性と事業活動の効率性の両方をサポートするため、この要素が選出されました。
- **従業員の健康、安全、ウェルネス** — これは常にキーサイトの事業管理の重要な要素の1つでしたが、COVID-19の影響と、人材管理がビジネス活動に与える影響の大幅な増加を反映して、この分野での外部利害関係者の要求レベルが大きく上昇しました。
- **目的に応じたテクノロジー** — 社会経済状況と地球環境の持続可能性に関する課題により、“すべてが安全につながる世界”を実現するというキーサイトのミッションと、Eモビリティエコシステムの実現に関するキーサイトのソリューションの役割の重要性が大幅に高まりました。

次の正式なCSR重要要素評価までの間にも、キーサイトはKLMの定義に従い、利害関係者と定期的に交流を行います。これは、CSR活動と利害関係者の期待の間の短期的／中期的整合性を維持するために役立ちます。このような利害関係者との定期的な交流は、コンサルティング、アンケート、臨時のフィードバックやレビューを通じて行われます。

CSRのガバナンス構造、定義範囲、 管理システムの利用

ガバナンスチーム

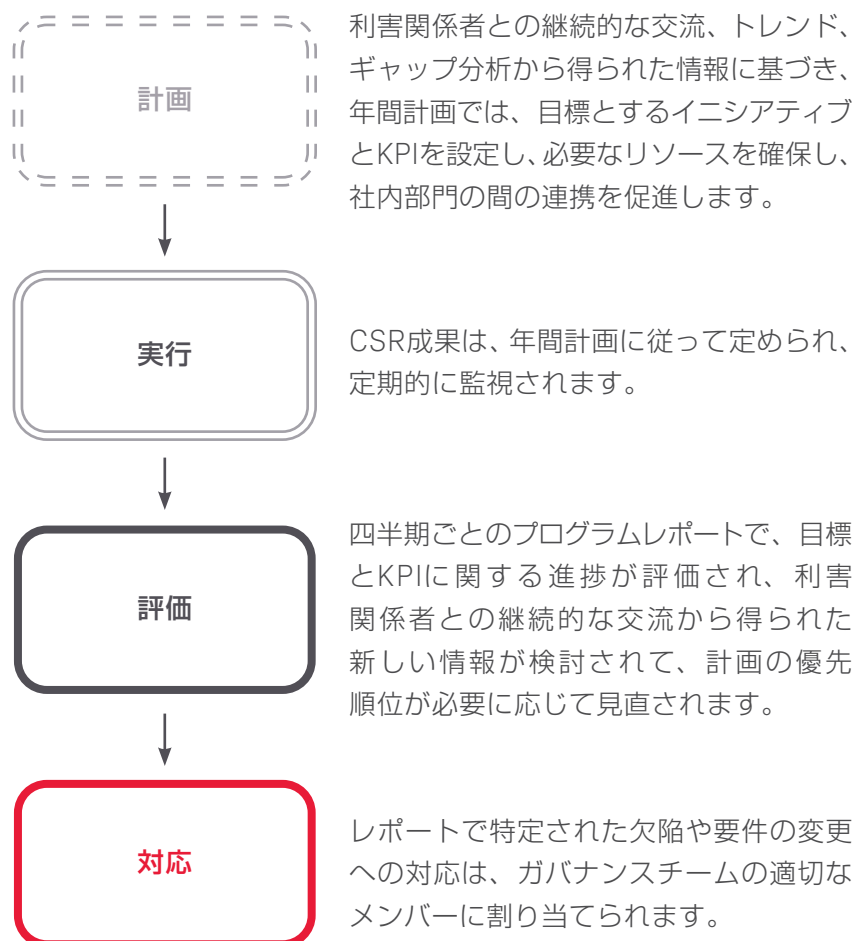
キーサイトのCSRプログラムを管理している機能横断型のガバナンスチームは、プログラム要素の特定と全社的な説明責任の推進を通じて、当社の企業市民活動に関するビジョンに向けての進歩と、利害関係者の期待の充足に責任を負っています。

CSR成果の範囲

- **プログラム管理** – ドキュメント、ツール、プログラムレポートなどの資料は、ビジネスコミットメントへの戦略的整合性とKPIの追跡に役立ちます。
- **目標を持った外部レポート作成** – レポート作成は、投資家、投資格付け機関、お客様、およびその他の利害関係者のデータ要件を満たすための、環境、社会、ガバナンス関連の開示を目的としています。
- **毎年の取り組み** – 主要影響目標とパフォーマンス指標に向けた進歩を実現し、特定された欠陥を修正し、新しいトレンドに対応するため、毎年、その年に固有の活動が決定され、実施されます。
- **コミュニケーションと広報** – 利害関係者のニーズとブランドの評価をサポートするため、社内外でのCSR活動の可視性を高めることを目標としています。

CSR管理システム

キーサイトのCSRガバナンスチームは、標準の管理システムプロセスに従って、プログラム要素を効果的に統制し、説明責任を確立しています。



CSRの柱の基礎的枠組み

キーサイトのCSRプログラムの基盤は、6つの柱に構造化されています。これらの基礎的な柱には、それぞれにサポートのためのポリシー、プログラム、行動計画、説明責任があり、会社とグローバルコミュニティの利益のためにすべてのCSR活動を整合させ、評価するための構造を実現します。

企業倫理ガバナンス – キーサイトは、透明性、持続可能性、および法令遵守を支える戦略的および運用上の方針、プロセス、価値観に基づいて、倫理的に責任ある方法でビジネスの遂行に取り組んでいます。この約束が、基礎となる柱すべてを支えています。

環境 – キーサイトは、自然資源の保全、二酸化炭素排出量の削減、廃棄物の最小化、汚染防止を優先課題とし、これらの目標を達成するためにサプライヤーや請負業者と協力しています。ISO 14001:2015認証を取得した当社の環境管理システムは、当社の事業活動による環境への悪影響を継続的に減らすために役立っています。

責任ある調達 – キーサイトは、持続可能な実践、テクノロジー、およびビジネス運営に関する相互の成功とリーダーシップを確立するため、戦略的サプライヤーと緊密なパートナーシップを結んでいます。

人材 – キーサイトは、すべての従業員が挑戦と成長の機会を持ち、競争力のある給与を受け取り、安全な環境で仕事ができる、ダイバーシティとインクルージョンを備えた敬意あふれる作業環境を目指しています。

コミュニティ – キーサイトは、事業を展開する地域社会に貢献し、地域および世界のボランティア活動に参加し、多数の慈善団体および教育機関を支援しています。

ソリューション – キーサイトは、生活に変革をもたらし、世界を安全な場所にし、地球上すべての人々をつなぐためのイノベーションを促進する電子測定ソリューションを、持続可能な方法で開発することを通じて、よりよい地球を実現することに貢献しています。

重要要素と基盤の柱との整合性

重要なCSR要素を利害関係者の期待と新しいトレンドに合わせて修正するにあたって、キーサイトは、重要な問題への継続的な注力と説明責任を保証するために、これらの要素を基盤となる柱に整合させています。以下の表は、関連するプログラム活動が、本レポートの前半で定義されたキーサイトの重要なCSR要素に対する重要なサポートを提供する分野を示しています。

	企業倫理 ガバナンス	環境	責任ある調達	人材	コミュニティー	ソリューション
ビジネスの回復力	○	○	○	○	○	○
循環型経済	○	○				○
データのプライバシーとセキュリティ	○			○		○
ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン	○			○	○	
従業員の健康、安全、ウェルネス	○			○		
倫理的ビジネス活動	○		○	○	○	○
地域コミュニティー	○	○		○	○	
材料の調達	○	○	○			○
二酸化炭素排出量の正味ゼロ化	○	○			○	
目的に応じたテクノロジー	○	○				○
サプライチェーンの労働基準	○		○			
人材の獲得、保持、養成	○			○	○	

日本での活動事例

電波法指定較正の提供

キーサイト・テクノロジー株式会社(当時アジレント・テクノロジー株式会社)は、2012年7月に民間企業として初めて総務省の指定較正機関に認定されました。

指定較正事業者として周波数計、スペクトル分析器、高周波電力計、電圧電流計、標準信号発生器、周波数標準器の較正を提供しています。

電波法指定較正では電波法の規定に基づき、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)を通じて、国際単位系(SI)にトレーサビリティを確保しています。

加えてキーサイトの較正では、CIPM相互認証協定を締結している国家計量標準機関を通じて、国際単位系(SI)にトレーサビリティを確保し、測定器が製品の仕様を満たしているかを確認するために、フルポイントの試験を実施しPass/Fail判定を行います。また、仕様外れの際は、調整を実施します。

これにより、電波法の準拠および仕様に適合しているかを確認でき、安心して測定器をご利用いただくことができます。

大学への単位認定講座提供

キーサイト・テクノロジー株式会社では、最先端高周波計測機器を利用した実習を通じて、RF・マイクロ波回路に関する高周波計測理論の理解を深めることを目的として、国立大学法人 東京工業大学・国立大学法人 東北大学にて単位認定講座を提供しています。単位認定講座では、高周波(数GHz帯)における計測技術に関する基礎理論の講述と、スペクトラム・アナライザおよびネットワーク・アナライザを利用した高度な計測実習、並びに高周波回路や電磁界シミュレータであるADS(Advanced Design System)を利用した実習を集中講義形式で行っており、未来の高周波エンジニアの成長機会をサポートしています。

地域社会への貢献

社会貢献の一環として、本社が所在する八王子市高倉町の町内会に加入し、住みよい地域づくりの活動に長年に渡り参画しています。活動の一例として、本社施設周辺の街路灯(防犯灯)の点検・交換の費用をキーサイト・テクノロジー株式会社が負担しています。



本書の情報は、予告なしに変更されることがあります。 | 7121-1135.JA © Keysight Technologies, 2021 | Published in Japan, October 11, 2021
詳細情報 www.keysight.co.jp | お問い合わせ先 www.keysight.co.jp/find/contactus
Bluetooth®およびBluetooth®ロゴは、Bluetooth SIGが所有する登録商標であり、キーサイト・テクノロジー・インクにライセンスされています。